



サルキー（乗用台車）

ライン・ペインタ 1200 用

Model No. 42023—260000001 and Up

Model No. 42023—270000001 and Up

オペレーターズマニュアル

もくじ

	ページ
はじめに	2
安全について	3
一般的な注意事項	3
組み立て	4
付属部品表	4
サルキー・ヒッチを取り付ける	4
サルキーを取り付ける	5
ホールのグリスアップを行う	5
使用方法	6
保守	7
推奨定期整備一覧表	7
タイヤ空気圧を点検する	7
サルキーのグリスアップを行う	7
ピボット・シャフトに注油する	7
Toro 一般業務用機器の品質保証	8

はじめに

この説明書を読んで製品の運転方法や整備方法を十分に理解してください。オペレータや周囲の人の人身事故や製品の損傷を防ぐ上で大切な情報が記載されています。製品の設計製造、特に安全性には常に最大の注意を払っておりますが、この製品を適切かつ安全に使用するのとはお客様の責任です。

弊社のウェブサイトwww.Toro.comで製品やアクセサリ情報の閲覧、代理店についての情報閲覧、お買い上げ製品の登録などを行っていただくことができます。

整備について、また純正部品についてなど、分からないことはお気軽に弊社代理店またはカスタマー・サービスにおたずねください。お問い合わせの際には、必ず製品のモデル番号とシリアル番号をお知らせください。モデル番号とシリアル番号は製品に取り付けた銘板に表示されています。

いまのうちに番号をメモしておきましょう。

Model No.	_____
Serial No.	_____

この説明書では、死亡事故を含む人身事故防止のために様々な方法でお客様の注意をうながしております。危険の度合いに応じて、**危険**、**警告**、**注意**の3種類の用語を使い分けて説明を行っています。しかしながら、危険の度合いに関係なく、常に細心の注意をもって製品をお取り扱い下さいますようお願い申し上げます。

危険: 死亡事故を含む重大な人身事故を防止するための最重要安全注意事項です。

警告: 死亡事故を含む**人身事故**を防止するための重要安全注意事項です。

注意: **けが**などを防止するための安全注意事項です。

この他に2つの言葉で注意を促しています。**重要**は製品の構造などについての注意点を、また、**注:**はその他の注意点を表しています。

安全について

不適切な使い方をしたり手入れを怠ったりすると、人身事故につながります。事故を防止するため、ライン・ペインターのオペレーターズマニュアルに書かれている安全上の注意や安全注意標識のついている遵守事項は必ずお守りください。これは「注意」、「警告」、「危険」など、人身の安全に関わる注意事項を示しています。これらの注意を怠ると死亡事故などの重大な人身事故が発生することがあります。

一般的な注意事項

- サルキーを改造したり、他の機械に取り付けて使用したりしないでください。
- ご使用前に、取り付け状態や走行状態をよく確認してください。
- サルキーには、オペレータ以外の人は乗らないでください。
- 使い方を知らない人に使わせないでください。
- 目、耳、足、頭などの適切な保護具を使用してください。
- 実際にサルキーの使用を始める前に、ライン・ペインターそのものの運転操作に十分慣れておいてください。
- 実際にサルキーを使用する前に、障害物のない広い平らな場所で十分に運転になれてください。サルキーを装着しての運転は装着していない場合と異なります。特に斜面で旋回したり停止したりするときの感覚が大きく異なりますから慣れが必要です。
- 曲がるとき、不整地、斜面などでは速度を落とし、十分に注意してください。
- 斜面は横切るように走行し、急斜面には乗り入れないでください。
- バックするときには、足元と後方の安全に十分な注意を払ってください。バックする場合には安全に特にご注意ください。

組み立て

付属部品表

名称	数量	用途
サルキー・ヒッチ	1	サルキー・ヒッチを取り付けます
キャリッジ・ボルト, 5/16 x 4-1/2 in.	4	
キャップスクリュ, 3/8 x 4 in.	2	
ワッシャ, .406 x .813	2	
ロックナット, 5/16 in.	4	
ロックナット, 3/8 in.	2	
ワッシャ, .813 x .563	2	サルキーをヒッチを取り付けます
リンチ・ピン	1	
オペレーターズマニュアル	1	
パーツカタログ	1	

サルキー・ヒッチを取り付ける

1. ライン・ペイントを汚れない平らな床に駐車する。エンジンを停止し、駐車ブレーキを掛け、点火プラグのコードを抜き取る。
2. ライン・ペイントの後部を持ち上げ、車輪を外して、後ろの車軸のシャフトをジャッキ・スタンドで支え、後輪の車軸取り付けボルトに手がとどくようにする。
3. トランス・アクスルの各端部をフレームに固定しているキャリッジ・ボルト2本を外す (図1)。

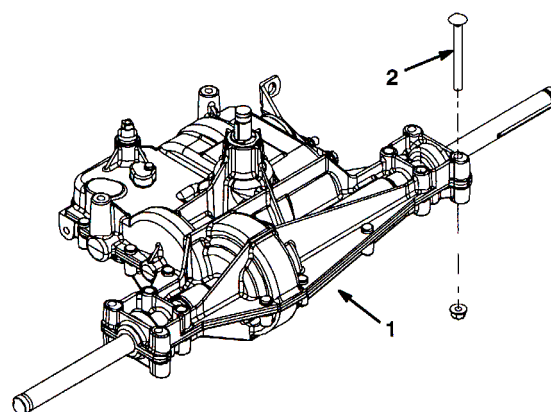


図1

1. アクスルの後部
2. キャリッジ・ボルト

4. 外したボルトに代えて 5/16 x 4-1/2 in キャリッジ・ボルト 2本を取り付ける (図2)。

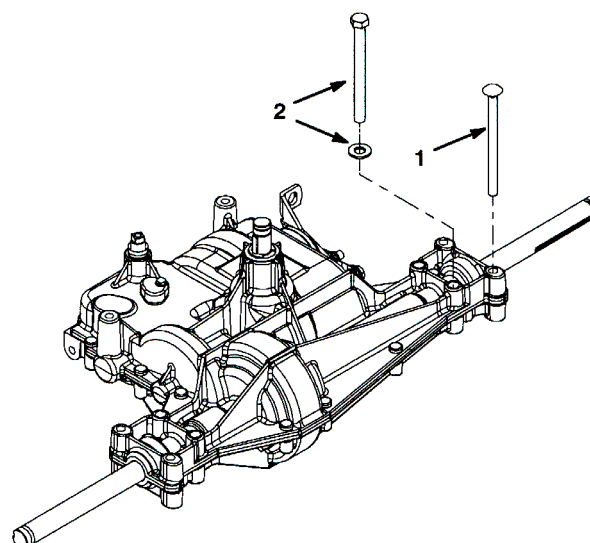


図2

1. キャリッジ・ボルト
2. キャップスクリュとワッシャ

5. 各トランスアクスルの端部にある未使用の後部取り付け穴に 3/8 x 4 in キャップスクリュと 0.406 x 0.813 ワッシャを取り付ける (図2)。
6. 新しいボルトにサルキー・ヒッチを通す。取り付け位置は図3を参照。
7. ナット (5/16 in が4個、3/8 in が2個) を使って、ヒッチをトランスアクスルに固定する (図3)。

8. スタンドを外し、車輪を取り付け、機体を床に下ろす。

サルキーを取り付ける

1. サルキーのピボット・シャフトの未塗装部分に薄くオイルを塗る (図4)。

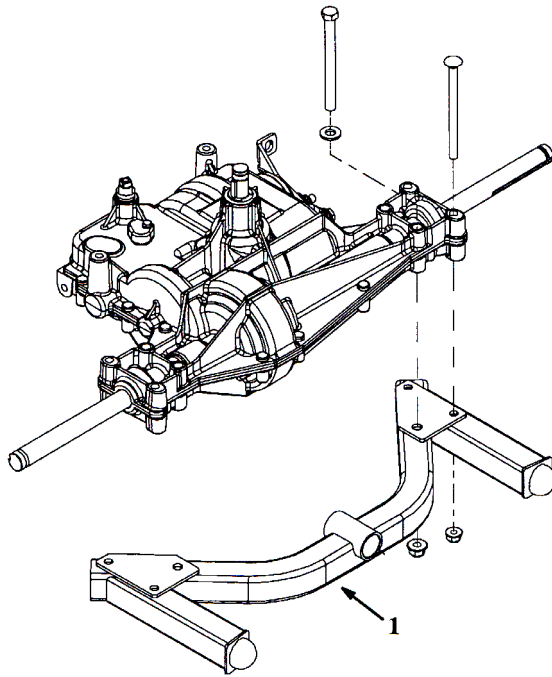


図3

1. ヒッチ

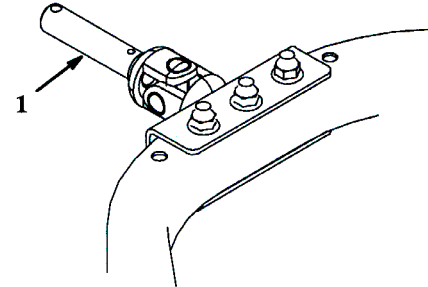


図4

1. ピボット・シャフト

2. ピボット・シャフトに、ワッシャ (0.813 x 1.563) を通す (図5)。

3. ピボット・シャフトをサルキー・ヒッチに通し、ワッシャ (0.813 x 1.563) とリンチ・ピンで固定する (図5)。

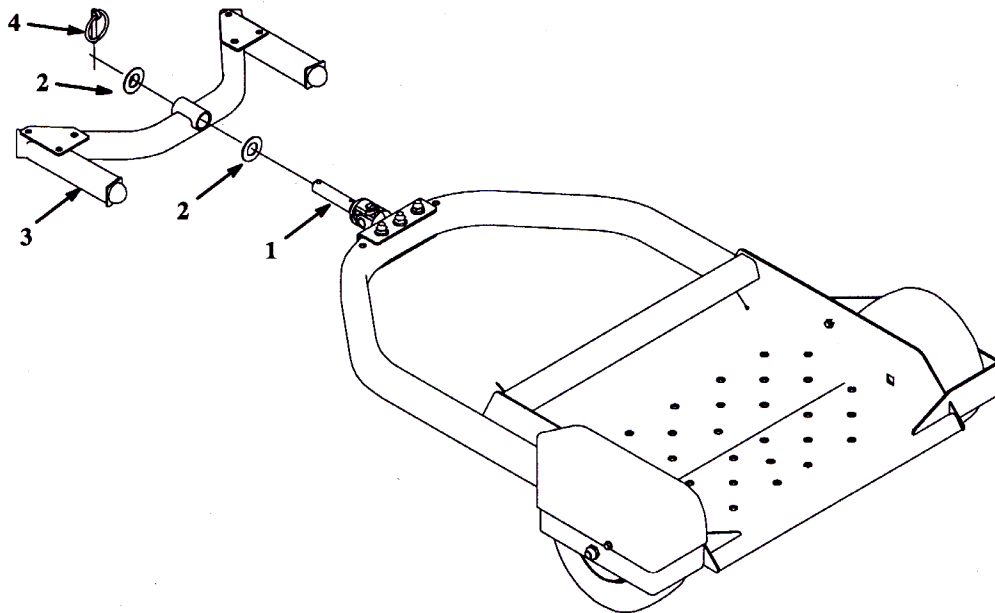


図5

1. サルキーのピボット・シャフト
2. ワッシャ
3. ヒッチ
4. リンチ・ピン

車輪のグリスアップを行う

7ページ「サルキーのグリスアップ」を参照してください。

使用方法

- 初めて使用する時はゆっくりとした速度で運転し、時間をかけて慣れてください。
- 曲がるときに振り落とされたり、サルキーを周囲にぶつけたりしないよう十分注意してください。
- 曲がるときには、曲がる方向に前傾気味に身体を倒してバランスをとってください。

保守

推奨定期整備一覧表

定期整備間隔	整備内容
8 運転時間	• タイヤ空気圧を点検する。
25 運転時間	• グリス・ニップルへグリスを補給する。 • 注油部をオイルで潤滑する。
格納保管時の整備	• グリス・ニップルへグリスを補給する。 • タイヤ空気圧を点検する。 • 塗装傷を修理する。

タイヤ空気圧を点検する

キャスタ・ホイールのタイヤの標準空気圧は 124-138 kPa (1.3~1.4 kg/cm²) です。8 運転時間ごとまたは使用ごとに確認してください。

ピボット・シャフトを潤滑する

25 運転時間ごと、また、機体を洗浄したときはその直後に、サルキーのピボット・シャフトの未塗装部分に薄くオイルを塗ってください。

サルキーのグリスアップ

25 運転時間ごと、また、機体を洗浄したときはその直後に、全部のグリス・ニップルにグリスを補給してください。

グリスの種類：汎用グリス

1. グリス・ニップルをウェスできれいに拭く。
2. ニップルにグリスガン进行接続する (図6)。
3. グリスがはみ出てくるまで注入する。
4. はみ出したグリスはふき取る。

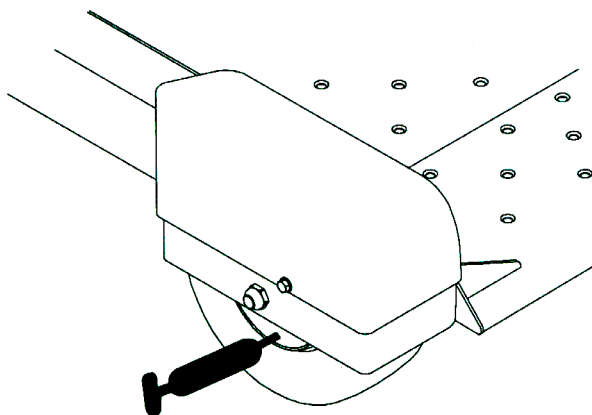


図6

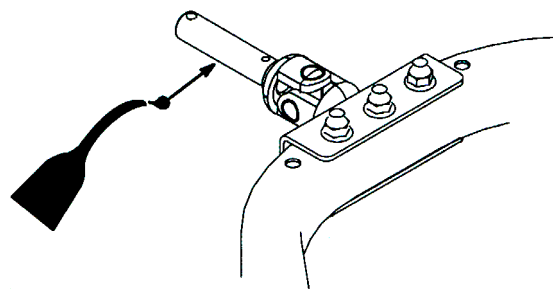


図7

保証条件および保証製品

Toro社およびその関連会社であるToro ワランティ社は、両社の合意に基づき、Toro 社の製品（「製品」と呼びます）の材質上または製造上の欠陥に対して、2年間または1500運転時間* のうちいずれか早く到達した時点までの品質保証を共同で実施いたします。この品質保証の対象となった場合には、弊社は無料で「製品」の修理を行います。この無償修理には、診断、作業工賃、部品代、運賃が含まれます。保証は「製品」が納品された時点から有効となります。
*アワーメータを装備している機器に対して適用します。

保証請求の手続き

保証修理が必要だと思われる場合には、「製品」を納入した弊社代理店（ディストリビュータ又はディーラー）に対して、お客様から連絡をして頂くことが必要です。

連絡先がわからなかったり、保証内容や条件について疑問がある場合には、本社に直接お問い合わせください。

Toro Commercial Products Service Department
Toro Warranty Company
8111 Lyndale Avenue South
Bloomington, MN 55420-1196
952-888-8801 or 800-982-2740
E-mail: commercial.service@toro.com

オーナーの責任

「製品」のオーナーは、オーナーズマニュアルに記載された整備や調整を実行する責任があります。これらの保守を怠った場合には、保証が受けられないことがあります。

保証の対象とならない場合

保証期間内であっても、すべての故障や不具合が保証の対象となるわけではありません。以下に挙げるものは、この保証の対象とはなりません。

- Toroの純正交換部品以外の部品や弊社が認めていないアクセサリ類を搭載して使用したことが原因で発生した故障や不具合。
- 必要な整備や調整を行わなかったことが原因で生じた故障や不具合。
- 運転上の過失、無謀運転など「製品」を著しく過酷な条件で使用したことが原因で生じた故障や不具合。
- 通常の使用に伴って磨耗消耗する部品類。但しその部品に欠陥があった場合には保証の対象となります。通常の使用に伴って磨耗消耗する部品類とは、ブレード、リール、ベッドナイフ、タイン、点火プラグ、キャスタホイール、タイヤ、フィルタ、ベルト、スプレーヤの一部構成機器たとえばダイヤフラム、ノズル、チェック・バルブなどを言います。
- 外的な要因によって生じた損害。外的な要因とは、天候、格納条件、汚染、弊社が認めていない冷却液や潤滑剤、添加剤の使用などが含まれます。

- 通常の使用にともなう「汚れや傷」。通常の使用に伴う「汚れや傷」とは、運転席のシート、機体の塗装、ステッカー類、窓などに発生する汚れや傷を含みます。

部品

定期整備に必要な部品類（「部品」）は、その部品の交換時期が到来するまで保証されます。

この保証によって取り外された部品は弊社の所有となります。部品やアセンブリを交換するか修理するかの判断は弊社が行います。場合により、弊社は部品の交換でなく再生による修理を行います。

その他

上記によって弊社代理店が行う無償修理が本保証のすべてとなります。

両社は、本製品の使用に伴って発生する間接的偶発的結果的損害、例えば代替機材に要した費用、故障中の修理関連費用や装置不使用に伴う損失などについて何らの責も負うものではありません。両社の保証責任は上記の交換または修理に限らせていただきます。その他については、排気ガス関係の保証を除き、何らの明示的な保証もお約束するものではありません。商品性や用途適性についての黙示的内容についての保証も、本保証の有効期間中のみに限って適用されます。

米国内では、間接的偶発的損害に対する免責を認めていない州があります。また黙示的な保証内容に対する有効期限の設定を認めていない州があります。従って、上記の内容が当てはまらない場合があります。

この保証により、お客様は一定の法的権利を付与されますが、国または地域によっては、お客様に上記以外の法的権利が存在する場合もあります。

エンジン関係の保証について：米国においては環境保護局（EPA）やカリフォルニア州法（CARB）で定められたエンジンの排ガス規制および排ガス規制保証があり、これらは本保証とは別個に適用されます。くわしくはエンジンメーカーのマニュアルをご参照ください。上に規定した期限は、排ガス浄化システムの保証には適用されません。くわしくは、エンジンマニュアルまたはエンジンメーカーからの書類に記載されている、エンジンの排ガス浄化システムの保証についての説明をご覧ください。

米国とカナダ以外のお客様へ

米国またはカナダから輸出された製品の保証についてのお問い合わせは、お買いあげのToro社販売代理店（ディストリビュータまたはディーラー）へおたずねください。代理店の保証内容にご満足いただけない場合は輸入元にご相談ください。輸入元の対応にご満足頂けない場合は本社へ直接お問い合わせください。